

高レベル廃液のガラス固化方針について

(お知らせ)

当社は、標記ガラス固化方式について昨年来調査検討を行ってきており、このほどその検討結果をふまえてセラミック・メルター法を採用することに決定しました。

同法については、かねてから動燃事業団が小規模のホット試験や実規模の確証試験を行いながら開発研究を進めてきたもので、西独および米田で経験した諸問題も解決しています。同事業団はその結果に基づき実証プラントを建設中であります。

当社としては六ヶ所再処理工場からの高レベル廃液を同法によって固化する実規模プラントの概念設計を石川島播磨重工業に委託し検討をすすめてきました。その結果、安全性・信頼性が十分に確保でき、経済性もすぐれたもののできるという見通しを得たので同法を採用することにし、設計作業をすすめることを決めました。

なお、本計画の遂行に当たっては国および動燃事業団からの全面的な協力を期待しています。

以上

セラミックメルタ法

セラミックメルタ法は、セラミック製のメルタ内に設置した電極による
溶融ガラス中に直接通電して加熱し、ガラスを溶融する方法である。

高バール廃液は、ガラス原料と共にセラミックメルタ内に供給し、廃液の蒸発、
仮焼、ガラス溶融が行われる。

セラミックメルタ法の概念図を以下に示す。

